オレにも言わせろ!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

Vol.164

我が国は実に平和で豊かな国である



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

30年来の鼻炎の原因

2021年もいろいろありましたね。まずは健康話をしましょう。

毎年8月下旬から9月20日くらいまでは鼻づまりと、くしゃみがひどくなる季節でもある。30年ほど前の血液検査では、ダニ、チモシー、ヨモギ、ハウスダスト……が原因のアレルギーがオンパレードだった。そこで、当時隣町にあった中森耳鼻科で、2年間で100本の減感作療法の注射を打ったが、正直言って効き目のほどはあいまいだった。さらに、たまたまNHK教育テレビでこの鼻炎特集をやっていて、漢方の小青竜湯が効果あると言っていたので、つい最近まで毎朝服用して、**いた。**

そう、過去形になってしまったのだ。もっと効果的な治療方法が見つかったのである。2年前の7月に民放のテレビで、この鼻炎や鼻づまりに効果がある方法として鼻腔粘膜を電気で焼くと治ると放送していた。その翌日、耳鼻科に行き、「先生やってください」とお願いしてやったのは良いが、歯で電極を挟むことになった。これはエジソン対テスラの直流・交流実験なのか、ほぼ感電状態で涙目状態になった。先生からはこれで2年間は効果が維持できるからと言われ、なんとなく効果があったような、ないような微妙な2年間を過ごした。

テレビではそれほど痛くないと言っていたのに騙されたと思ったのだが、「銀歯があると電気通りやすいからビリビリ来るんだよね」と治療が終わってから先生が教えてくれた。

もう感電治療はイヤなので、2年後のことを考えて銀歯3本を取ることにした。ネットの情報だと銀歯にすると虫歯になりやすく、1945年に日本を裏切ったスエーデンでは、銀歯は禁止されている?らしい。

今度は歯医者通いが始まった。銀歯を取り、念のために虫歯治療をしてから自費診療のセラミック製に変えた。さー、これでバッチリだ!と意気込んで、2年振りに21年の7月に耳鼻科に向かい、再度電気を当てて鼻腔粘膜を焼いてしまえ!となった。ところが、先生は「電気やりませんよ」と言った。な、なんだって、診療拒否か! すると、「ミヤイさんの鼻炎の原因わかりましたよ」と告げられたのだ。

なんでも2年前の通院時に血液検査をしていた、らしい。その結果によると30年前にあった「チモシー、ヨモギ、ハウスダスト……のアレルギーはありませんよ」というのだ。**「ミヤイさんの鼻炎の原因は、**

〝ダニ〟です」。ダ、ダニ？　さらに聞いてみた。「**家が汚いからですか？**」。先生からは「それは関係ないですね、みなさんの家には普通にいますから、舌下の減感作治療でものすごく良くなりますよ」と信じれば救われるお言葉をいただいた。

この治療はダニの塊を舌の下に乗せるだけで良い、とても楽な治療になる。治療を始めてから2カ月が経ち、いつもだと鼻炎に悩む季節なのに何にも起こらない。科学に感謝するとともに、30年前に100回も減感作療法で注射した投資は無駄ではなかったようだ。

誰が日本を守っている？

さて、大きなニュースでは、アメリカ絡みの話だと**米軍のアフガニスタン撤退**があった。報道だけ見ると、**なんだ、アメリカよわー、となるが、そうだろうか**。日本が同じことをできるだろうか？　金髪・ブルーアイ、褐色肌などの多民族アメリカがかの地で戦ってくれたおかげで、極東アジアにおけるイスラム過激派やテロ集団の抑え込みに抑止効果を発揮したと同じことになる。

今でも覚えている。このアフガンの戦いが始まった時にアフガンの大統領はこう言った。「国際社会は我々（アフガン）を無視し続けた」と。ふざけんな！　何を甘っちょろいこと言ってんだ！　バイデン大統領はこう言うべきだ。「これからはもっとアフガンを無視し、困窮を極めてもアメリカは知らんからな。なんだったら日本にでも頼めば？」

この戦いでアフガン国民が亡くなったことはアフガンの責任であり、アフガンは2500名の米軍と4000名の米軍契約者が亡くなったことにもしっかり責任を取るべきだ。米軍撤退は20年に決まっているのにジタバタしているほうがおかしい。だってあのユダヤ人のアインシュタインは、1935年にアメリカに移住して国籍も取っている事実がある。

今の日本で外的な敵対行動があった場合、自衛隊だけで対応できるのかは疑問である。以前、陸上自衛隊の武器関係の者がアルバイトで働いていた。その時に64小銃と89小銃の弾丸は何日くらい持つの？と聞いたら、少し考えてから、「全員、連射で撃ったら2分くらいですかね、それも……」と答えた。北海道で2分だ。関東の部隊では何秒で弾切れを起こすのだろうか。

まぁその情報が正確かどうかは判断できないが、彼のやっていた仕事内容を聞く限り真実味がありそうだ。弾が無くなったら、また天皇陛下バンザーイのカミカゼ特攻か……。**国を守るのは当然だ！　遺伝子組み換えで食料増産だ！　こういう発言をすると、おかしな奴と思われる豊かなこの国を怨むわ。**

自衛隊と言えば、毎年3月に丘珠飛行場（札幌飛行場）で航空関係の勉強会が行なわれる。この飛行場は、戦前は陸軍、戦後アメリカが接収してからは日本の陸上自衛隊の航空部隊が飛行場の土地のほとんどを所有し、管制を行なっている。勉強会の当日は正門から事前登録した自家用車で敷地内に入るが、5年ほど前に私はV8シェビーで正門を前方に倒してしまった。高さは1mで長さが5mの金属製の扉だった。扉も車も何ともなかったので、その場は「ごめんなさい」で事なきを得た。

21年6月18日早朝に、この飛行場界隈で熊が出没し住民数名がけがをした。熊は私が倒した扉を再び倒し、自衛官も一人けがを負った。その後、熊は飛行場外に逃げて猟友会によって殺処分された。自衛隊さん、今度は2分間連射できる弾と良い銃を持っているんだから、すぐ撃ってくださいね。

このような場合、全国から苦情の電話が来るようで、熊が可愛そうだ！、熊は悪くない！という意見はすべて道外からだそうだ。それが正しいのだったらコッチも言わせてもらおう。あの麻生さんが、北海道でもおいしい米ができるようになったのは地球温暖化のおかげだ、と発言した。本当だったらどこが問題なのだ？　**二酸化炭素や炭素社会や化石燃料社会を作って恩恵があったのは、我われ日本人だぞ。**

さて、またあの12月23日を考えることになった。この日は上皇陛下の誕生日だ。日本史的には巣鴨プリズン、私も何度か訪れたことがある東池袋公園で極東国際裁判の後出しジャンケンでできた規則の判決で、東条英機、土肥原賢二、松井石根、武藤章、板垣征四郎、広田弘毅、木村兵太郎の7名が絞首刑になった日でもある。おかげで今ある日本の繁栄があり、今いる日本人が存在できたことを決して忘れてはいけない。